

# 第 36 回全日本バトン選手権大会ルール

## 【競技種目・規定内容】

| 種目  | タイム  | 演技内容   | 内容  |
|---|--|--|---|
| ①バシックストラット<br>低学年の部・高学年の部・中高生の部で審査                                      | 予選はストラットの審査、決勝は下記通り<br>バトンを回さず左周りへ4角に8個間ずつ歩く<br>●アテンション始め～アテンション終わり                                  |  | 歩き方、腕の振り方<br>方向転換スイッチ、視線、姿勢、ライン、始まり終わりの位置   |
| ②規定演技グレード1～6<br>取得グレードごとの審査<br>グレード未取得者は出場不可                            | 文部省選定ビデオ規定演技 初級DVDに掲載<br>グレード1、2、3、4、5、6の規定演技<br>●アテンション始め～アテンション終わり<br>●予選はバトンを落とした時点で演技終了とし、その場で座る |  | ストラット、正確なバトン操作、視線、姿勢、体の動き、カウント等   |
| ③ソロバトン<br>取得グレードごとの審査<br>グレード未取得者は出場不可                                  | ●グレード1・2 (40秒迄)<br>●グレード3・4 (50秒迄)<br>●グレード5・6 (1分迄)<br><br>●サリュート始まり～サリュート終わり                       | 演技は次の順番で行う<br>①コンタクト・フリップ<br>②縦フィンガーワーク<br>③ロール<br>④フラット、フラットフィンガーワーク含む<br>⑤縦エアリアル | 左記の5項目に対し、技術の難度あり<br><br>※グレードにかけ離れた技術は審査外となります<br>※グレード1から4まではフィンガーワークの有無は問いません。 |
| ④ソロツーバトン<br>小学校低学年の部/高学年の部/中・高生の部で審査<br>⑤ペアバトン<br>小学校低学年の部/高学年の部/中・高生の部 | ●低学年 (40秒迄)<br>●高学年 (50秒迄)<br>●中・高生学生 (1分迄)<br><br>●サリュート始まり～サリュート終わり                                |  |   |
| ⑥団体ポンポン<br>小学生の部/中・高生の部で審査  | ●小学生 (1分15秒迄)<br>●中・高生 (2分迄)   | 自由曲とする<br>参加団体数、人数により、小編成・大編成での審査あり  | ①～⑤種目の基本審査項目に加え、団体審査項目(フォーメーション等)<br>スタッツ、発声は禁止                                   |
| ⑦団体バトン<br>小学生の部/中・高生の部で審査   | ●小学生 (1分30秒迄)<br>●中・高生 (2分30秒迄)  |  |   |

( )内は制限時間となり、個人予選は制限時間で終了、個人決勝並びに団体演技は減点とする

①～⑤はマチンドレスシューズ使用/⑥⑦はチーム持参の自由曲

当協会「全国大会公認審査員」により審査を行う